

登録コード	SSA29614	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（数学分野）					担当教員	佐々木 格
英文授業名	Special Research (Mathematics Division)					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観					数学・数理科学の学習・研究を行うことによって論理能力を習得する。	
	2 4 SSカリ・理学						
	～ 24SS【DP2】環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					数学・数理科学の学習・研究を通して高度な科学的社会を維持するために必要な能力を身につける。	
	～ 24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力					数学・数理科学の課題に対して適切な文献しらべて分析する能力を身につける。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力					数学・数理科学の未解決問題に取り組むことによって, 新しい技術を生み出す能力を養う。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力					数学の専門的知識による適切な数学的議論ができるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養					数学・数理科学の学習・研究を通して高度な科学的社会を維持するために必要な能力を身につける。	
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					数学・数理科学の課題に対して適切な文献しらべて分析する能力を身につける。	
(2)授業の概要	教科書や論文などの文献を読みながら数理科学の学習を深める。既存の研究をよりわかりやすく再構成してまとめたり, 新しい課題を見出し解決することを目指す。						
(3)授業のキーワード	コミュニケーション能力, 問題発見・解決能力, 分析能力						
(4)授業計画	学生が主体的に勉強を行う。指導教員は学生の勉強の進捗状況に応じて必要な知識を補ったり助言を行う。学生は最終的には学習・研究したことを学位論文としてまとめ, 論文発表会で紹介する。						
(5)成績評価の方法	提出された学位論文と発表会の内容をもとに, 学位論文審査委員（主査 1 名, 副査複数名）が評価を行う。						
(6)成績評価の基準	学位論文の内容（内容の豊富さ, オリジナリティー, 重要性など）によって判断する。また論文発表会では情報発信能力が評価される。						
(7)事前事後学習の内容	指導教員と相談して決める。						
(8)履修上の注意	指導教員と相談してください。						
(9)質問, 相談への対応	指導教員が随時対応する。						
【教科書】	相談して決めます。						
【参考書】	特になし。						